

平成 26 年 5 月 8 日

各 位

会社名 株式会社 M C J  
 代表者名 代表取締役社長兼会長 高島 勇二  
 (東証マザーズ コード番号:6670)  
 問合せ先 取締役 コーポレート本部長 浅貝 武司  
 (電話番号 03-5821-7114)

### 業績予想及び配当予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期において特別損失を計上する見込みとなりましたため、その概要をお知らせいたしますとともに、最近の業績の動向等をふまえ、平成 25 年 10 月 29 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期の通期連結業績予想及び配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想の修正

(1) 平成 26 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	88,614	2,871	3,004	1,689	33 円 92 銭
今回修正予想 (B)	104,003	4,061	4,005	1,812	36 円 38 銭
増減額 (B - A)	15,389	1,189	1,001	122	—
増減率 (%)	17.4	41.4	33.3	7.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	85,866	1,808	1,737	1,054	20 円 87 銭

(注) 平成 26 年 3 月期の第 1 四半期連結会計期間において表示方法の変更を行ったため、前期 (平成 25 年 3 月期) 実績の売上高及び営業利益について組替えを行っております。

(2) 修正の理由

主力事業であるパソコン関連事業において、マイクロソフト社の OS (オペレーティングシステム) 「Windows XP」のサポート終了に伴う買い替え需要、並びに、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の双方を効果的に取り込むことに成功したこと、また、グループ各社が引き続き販管費の抑制に努めたことや、より利益率の高い高価格帯製品の販売が増加したこと等により、売上高及び各利益がそれぞれ前回発表予想数値を上回り、各利益においては過去最高益を達成する見込みとなりました。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 修正の内容

基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想	—	5円09銭	5円09銭
今回修正予想	—	5円46銭	5円46銭
当期実績	0円00銭	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	0円00銭	3円26銭	3円26銭

### (2) 修正の理由

当社は、経営成績に応じた業績成果配分型の配当を基本方針とし、平成26年3月期における1株当たりの期末配当予想金額について、5円09銭（連結当期純利益ベースでの配当性向15%）と予想しておりましたが、通期連結業績予想数値の上方修正に伴い5円46銭に修正いたします。

## 3. 特別損失の計上

当社連結子会社に係るのれんについて、回収可能性を慎重に検討のうえ、財務の健全性の観点から平成26年3月期において所定の減損処理を行う方針であります。現時点で当該のれんの減損損失は637百万円を見込んでおります。

また、上記に加え、当社及び当社連結子会社が保有する複数の固定資産（土地・建物・設備等の有形固定資産）の減損損失、その他特別損失を合計し、1,004百万円の特別損失を計上する見込みであります。

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成されており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。